

ボーリング柱状図

調 査 名

事業・工事名

東南海・南海地震予測のための地下水等総合観測施設設備工事(愛知県西尾市地区)

ボーリングNo.

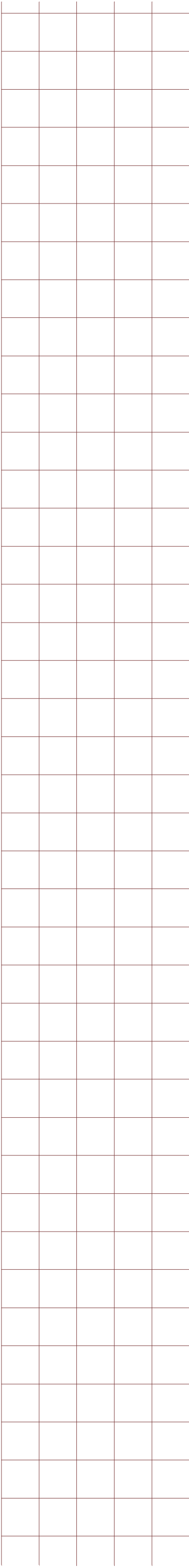
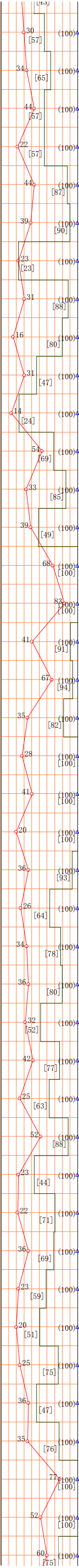
シートNo.

ボーリング名	孔 2		調査位置	愛知県西尾市善明町山田12				北 緯	
発 注 機 関	独立行政法人 産業総合研究所				調査期間	平成 24年 5月 14日 ~ 25年 6月 28日		東 経	
調 査 業 者 名	株式会社 日さく 電話(052-432-0212)		主任技師	堀 信 雄	現代場人	伊藤 勉	コ鑑ア者 鑑 定 者	長藤 亮輔	ボーリング責任者 菊池 義文
孔 口 標 高		角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試 錐 機
総 掘 進 長	210.00m							グランドル	エンジン
								モーター 30kW	ポンプ
									M G 40

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	変 質	記 事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩 級 区 分	孔内水位 (m)／測定月日	( ルジオン 標準貫入 ) 試 験		原位置試験 ( )	室内試験 ( )	掘 進 状 況																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
															( P ~ Q N 値 ~ 深度 ) 図 □ : ルジオン値 ( ) : 換算ルジオン値 《 》 : 限界圧力 N 値	( N 値 )			掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm／時)	孔 径 (mm)／孔 壁 保 護	コ ア チ ャ ン プ ベ ッ ト	給 圧 (MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (1／分)	排 水 量 (1／分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
30		30.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</



		泥質片麻岩	灰	C	III	b	$\beta$	2	短柱状コア主体。石英を主体とする。				
56.55		珪質片麻岩	灰白	B	III	b	$\beta$	2	柱状コア。石英を主体とする。				
57.00		泥質片麻岩	暗灰	B	II	b	$\beta$	2	柱状～棒状コア主体。全体に新鮮で亀裂面は密着。 GL-57.00～57.20m間、珪質で白雲母を多く含む、下位の黒雲母主体の部分と不整合で接する。 GL-61.35～61.75m間、珪質な部分が5～10cm程度の脈状に確認される。				
				C	III				短柱状コア主体。片理面に沿って亀裂が多い。				
			暗灰 灰白	B	II				柱状～棒状コア主体。全体に新鮮で亀裂面は密着。所々層厚5～10cm程度の珪質な部分が確認される。 GL-58.3m付近、岩片状コア。				
62.40		珪質片麻岩	灰白	D	IV	c	$\delta$	3	岩片状～短柱状コア。全体に風化が進行し、コアは軟質。指圧で砂礫状に崩壊する。				
63.00		泥質片麻岩	暗灰	B	II	a	$\beta$	1	柱状～棒状コア。全体に新鮮で亀裂面は密着。				
63.55		珪質片麻岩	淡緑灰	B	II	a	$\beta$	2	柱状コア主体。全体に新鮮でコアは硬質。				
64.20		泥質片麻岩	暗緑灰	B	II	b	$\beta$	2	柱状コア主体。全体に新鮮で硬質。亀裂面は密着。				
65.30				C	III				短柱状～岩片状コア。片理面沿いおよび高角度の亀裂が発達する。 GL-66.30～66.50m間、岩片状コア。				
66.50				暗灰	II				短柱状～柱状コア主体。片理面に沿って亀裂がみられる。 GL-69.00m付近、亀裂面に粘土を挟在する。 柱状～棒状コア主体。全体に新鮮で珪質、コアは硬質。亀裂は少なく片理面に沿って確認される。 石英分の多い部分では片理の方向は一定しない。				
69.00										III	a		
69.60			B	II									
					灰 暗灰	II							
							GL-74.90m付近、亀裂面に二次鉱物の黄鉄鉱が確認される。  GL-75.00～76.90m間、石英を主体とする層厚5～10cm程度の脈を多く挟在する。						
								GL-74.90m付近、亀裂面に二次鉱物の黄鉄鉱が確認される。  GL-75.00～76.90m間、石英を主体とする層厚5～10cm程度の脈を多く挟在する。					
			GL-74.90m付近、亀裂面に二次鉱物の黄鉄鉱が確認される。  GL-75.00～76.90m間、石英を主体とする層厚5～10cm程度の脈を多く挟在する。										
				GL-74.90m付近、亀裂面に二次鉱物の黄鉄鉱が確認される。  GL-75.00～76.90m間、石英を主体とする層厚5～10cm程度の脈を多く挟在する。									
		GL-74.90m付近、亀裂面に二次鉱物の黄鉄鉱が確認される。  GL-75.00～76.90m間、石英を主体とする層厚5～10cm程度の脈を多く挟在する。											
76.90					珪質片麻岩	灰	B	II	a	$\beta$	2	柱状コア主体。石英・長石の斑晶を主体とし、黒雲母を多く含む。黒雲母を多く含む黒い部分と石英・長石主体の白い部分により縞状の構造を示す。 GL-77.40～77.50m間、淡赤褐色を呈する。	
78.75			柱状コア主体。全体に著しく珪質で、ほぼ石英から構成される。亀裂角は水平に近いものを主体とする。 GL-79.45～79.60m間、高角度の亀裂がみられ岩片状となる。  GL-81.15～81.30m間、高角度の亀裂がみられ岩片状となる。 GL-81.45～81.60m間、黒雲母を多く含む。 GL-82.10～82.25m間、高角度の亀裂がみられる。										
83.00			白	B		II	a	$\beta$	2	岩片状コア。高角度の亀裂が発達する。			
83.30		C								IV	b	柱状コア主体。石英・長石を主体とし、黒雲母を含む。 GL-93.20～93.40m間、黒雲母を多く含む。 柱状コア主体。石英・長石を主体とし、黒雲母を含む。  GL-85.10～85.50m間、0.5～1cm程度の粗粒な斑晶がみられる。  GL-86.40～88.50m間、縞状構造を示す。	
84.40		灰 灰白	B	II		a	$\beta$	2	柱状コア主体。石英・長石を主体とし、黒雲母を含む。30～50°程度のやや高角度な亀裂が多い。石英を主体とする部分と、縞状構造を示す部分が不均質に入り混じる。 GL-90.10m付近、やや亀裂多い。				
89.10									D	IV	c	$\gamma$	短柱状～岩片状コア主体。高角度の亀裂が発達する。 GL-92.10m付近、砂礫状を呈し粘土を含む。
89.40													C
92.00									灰	I	b	$\beta$	
92.65			灰	I		b	$\beta$	柱状～棒状コア主体。石英・長石を主体とし、黒雲母を少量含む。0.5～1cm程度の粗粒な斑晶を主体とする。亀裂は少なく亀裂面は密着。 GL-95.60～95.90m間、黒雲母を多く含む灰色を呈する。 GL-96.05～96.25m間、亀裂多く岩片状。					
93.40								灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。	
94.00		灰	I	b		$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。						
95.20							灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。		
		灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。							
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰	I	b	$\beta$	棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
		灰	I	b	$\beta$					棒状コア。石英・長石を主体とし、黒雲母を多く含む。全体に新鮮でコアは硬質。縞状構造を示すが、片理の方向は一定しない。			
						灰							



150	
130	
9/27	
155	
75	
110	
9/28	
135	
170	
120	

0.5	60	0.3	60	60
140	0.8			
0.5	60	0.3	60	60
140	0.8			
0.5	60	0.4	60	60
140				
0.5	120	0.4	60	60
120				
0.5	120	0.4	60	60
120				

[illegible]





[illegible]